

## 第44回 弘法山

第4支部 (株) 石倉塗料店  
石倉みゆき  
平成21年11月3日(火) 快晴

11月3日文化の日は、今年4回目の東塗商ハイキング同好会。参加者は、磯部幹事、乾幹事、若林さん、秦さん、原ご夫妻、石倉の7名。わたしは今年2回目の参加でした。

今回のルートは、神奈川県秦野市にある「弘法山公園」と呼ばれる、浅間山（せんげんやま）、権現山（ごんげんやま）、弘法山（こうぼうやま）の3つの山を巡り、そこから吾妻山（あがづまやま）を抜け、鶴巻温泉駅に到着する3時間予定の行程でした。

前日に吹いた木枯らし1号で、空気が急に冷たくなり、歩き始める前は、ちょっと肌寒く感じたものの、天気は快晴。ハイキングに出掛けるにはちょうど良い気候でした。

まず午前9時に小田急線 秦野駅に集合。駅から、登山口まで約30分歩き、登山口から登り坂を15分程登ると、‘あつという間！’に浅間山に到着。ちょこっと登っただけのように感じましたが、浅間山からは見晴らしがよく、遠くの富士山が木の枝の間からくっきりと見えました。

そこから、20分程歩き、急な階段を上りきったところで、2番目の権現山の頂上に到着。頂上は日差しが明るく、ここまで歩いてきて体も温まり、陽気がとても暖かく感じられました。ここは、弘法山公園の中では一番広い園地で、六角堂風の展望台があり、木のテーブルもあちこちに配置され、ハイキングや散策の人、カメラで熱心に撮影をしている人、ベンチに座ってくつろいでいる人などがいて、人々の憩いの場、といった雰囲気でした。

展望台の階段を上って周りを見渡すと、右手には富士山がそびえ、左手には大島、江ノ島が湘南の海に浮かび、私たちのメンバーばかりでなく、展望台にいた人たちがみな、その美しい風景に見入っていました。‘日本晴れに感謝！’

そこから弘法山まで小1時間の山行。比較的平坦な道をしばらくテクテクと歩いて行くと、年代も様々なハイカー、陸上部らしき部活動中の学生、マウンテンバイクに乗っている人、トレイルランニングをしている人たちと行き交い、遅ればせながら、山のスポーツも多様化していることを知りました。

権現山一帯には、桜の木が多く、誰かが「これは桜の時は宴会で大変になるな

一」とつぶやいていました。後日知りましたが、ここは、日露戦争の勝利を記念して当時の大根村青年団が桜を植樹し、現在は約2,000本もある桜の名所で、「かながわの花の名所100選」「かながわの景勝50選」「関東の富士見百景」にも選ばれています。春には動員数延べ1万5千人の「桜まつり」が開催され、予想の通り？相当賑やかな場所に様変わりするようです。(宴会ができるかどうかは未確認です)

さて、弘法山の山頂にたどりついて、大師堂や井戸、鐘楼を見学しました。弘法山の由来は、弘法大師がこの山で修行を行ったとされる故事に基づき、弘法大師を祀る信仰の山になったということです。先に通ってきた権現山の名も当時の信仰を思わせる命名で、その昔は憩いの場というよりは、厳かな雰囲気での修行の場だったのでしょうか。

ここの山頂でちょっと休憩。磯部さんの紅茶、若林さんのウイスキー、原さんのマッコリと原さんが山の途中のミカン畑で買われたミカン、と、いろいろ堪能させていただきました。そして12時半頃になり休憩を切り上げ、吾妻山を通り抜けながら鶴巻温泉駅まで30分ほどで下山。山の紅葉は、ピークを過ぎてはいましたが、まだ色づきの残る紅葉を味わうことができ、日本晴れとあいまって気持ちのよいハイキングでした。

ところが、駅に到着し、(第二の目的地と思われる)打ち上げの場所を、探しまわるも、駅周辺には、適当な場所(酔っぱらって騒いでも(通常、私ではありません)許してもらえそうな処)がない！ということで、町田へ移動し、何とか居酒屋を見つけ、ついに、カンパニー！

‘お疲れ様でした～’

天気は最高！ 運動量は適度！ 飲酒量も適量？ な晩秋のハイキングでした。